

医薬品情報学 Clinical Drug Information

薬：E3-06312MY

医療科目 3年／前期 1.5単位 必修科目

科目責任者 大野 恵子(薬剤情報解析学研究室)

■教育目的

医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を理解し、正しく取り扱うことができるようになるために、医薬品情報の収集、評価、加工、提供に関する基本的知識、技能を習得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②, ③, ④, ⑥】

■学習到達目標

1. 医薬品の適正使用のための情報収集法、評価法を説明できる。(知識)
2. 医薬品情報源としての一次資料、二次資料、三次資料を説明でき、代表的な二次・三次資料の特徴を説明できる。(知識)
3. 医療文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。(知識・技能)
4. 代表的な臨床研究の手法の特徴、並びに臨床研究におけるバイアス・交絡について概説できる。(知識)
5. 介入研究の計画上の技法及び効果指標の違い、臨床研究の結果の主なパラメータを説明し、計算できる。(知識・技能)
6. EBM の基本概念と実践のプロセスを概説できる。(知識)
7. 臨床研究論文の批判的吟味に必要な基本的項目を列挙し、内的妥当性と外的妥当性について概説できる。(知識)
8. 医薬品情報を加工・提供する際の方法と注意点(知的所有権、守秘義務など)を説明できる。(知識)
9. 問題志向型システム(POS)、SOAP 形式などの患者情報の記録方法について説明できる。(知識)

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書の該当部分に目を通しておく。(30 分以上)、復習：講義内容を講義プリント及び教科書を用いて復習し、課題に取り組む。(60 分以上)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

医薬品の適正使用に欠かせない医薬品情報の収集・評価・提供に関する基本的内容をマルチメディアを活用して講義する。

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	概論	概論	B-5-3-1,2、D-3-1-1,2
2	情報源 1	医薬品情報(DI)の種類と特徴、情報の収集	D-3-2-1～5
3	情報源 2	医薬品添付文書(医療用)	D-3-2-2
4	情報源 3	医薬品添付文書(一般用)と医薬品インタビューフォーム	D-3-2-2
5	医薬品の開発過程と DI 1	開発過程と得られる医薬品情報	D-1-1-1,2
6	医薬品の開発過程と DI 2	市販後に行われる調査と得られる医薬品情報	D-1-1-1,2
7	Evidence-Based Medicine (EBM) 1	基本概念と臨床研究のデザイン、メタアナリシス	D3-3-1.2
8	EBM 2	EBM の実践手順	D3-3-3
9	EBM 3	臨床研究結果の主なパラメータ(相対リスク、相対リスク減少、絶対リスク減少、治療必要数など)	D3-3-5
10・11	医薬品情報の解析と評価 1 & 2	臨床研究論文の批判的吟味 1 & 2	D3-3-3～6
12	医薬品情報の応用 1	医薬品情報の加工・提供・発信、医療現場における DI の活用 1	D-3-4-1,2
13・14	医薬品情報の応用 2・3	医療現場における DI の活用 2 & 3	D-3-3-6,D-3-4-1～5,B-5-3-1～3
15	患者情報	患者情報の収集・評価・管理	D-3-5-1～5

■授業分担者

大野 恵子(No.1～6、10～15)、小田 絢子(No.7～11)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義内容に関する質問等は、随時、オフィスアワー等を活用して個別に受け付ける。期末試験の成績(100 %)で評価する。

■教科書

『コンパス医薬品情報学－理論と演習－』改訂第 3 版(南江堂)、講義プリント

■参考書

『EBM 実践ワークブック』(南江堂)、『医薬品情報学－ワークブック』(朝倉書店)